



1日のスケジュール

- 8:00 ● 登庁  
予定確認、書類確認
- 8:30 ● 始業  
工事の現地踏査、測量、設計  
施工現場の確認、打合せ  
要望箇所の確認
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 工事の現地踏査、測量、設計  
施工現場の確認、打合せ  
要望箇所の確認
- 17:15 ● 終業

土木のことならあいつに聞けば分かるという存在になりたい。

Q 新人時代の思い出は？

入庁1年目に自分の得意分野の会計検査があり上司、先輩と一緒に乗り切ったこと。

Q 民間企業との違いは？

民間ではその分野のエキスパートになるためにひたすらその分野の勉強をしたが役所は幅広い知識が必要でありオールマイティーに仕事をする必要があります。

完成した現場。  
仕事の成果がそのまま形となるため実感が湧きやすく達成感も感じやすい。



Q 関市を選んだ理由は？

前職時、自分の知っている土地に携わる仕事をしたときにやりがいを感じ、自分が育った土地ならさらにやりがいを感じる事ができると思ったから。

Q 現在の業務内容は？

農業土木施設(揚水機、頭首工、用排水路、ため池)の調査、設計、工事管理、維持管理。

Q 仕事を行う上で、心がけていることは？

市民の方に話をする際は専門用語を極力使わずに分かりやすく説明すること。  
仕事上で分からないことがあれば調べたり、聞くなどして分からないままにしない。

Q 職場の雰囲気は？

普段から会話がが多く、すぐに相談できる環境。

Q どうやって仕事を覚えた？

自分の現場だけでなく先輩の現場についていき、分からないことはすぐ聞くようにして分かったつもりにならないようにしました。

Q “土木技術職として求められる力”をひとつ挙げるなら？

技術力。